

プリンセス・クルーズ、新プロダクション・ショー  
「ザ・シークレット・シルク」日本上演記念イベントを開催  
スペシャルゲストに女優の浅野ゆう子さんが登場、「母への「恩返し」クルーズ」の夢を語る



登壇者左から：「ザ・シークレット・シルク」プロデューサー スティーヴン・シュワルツ氏、  
「ザ・シークレット・シルク」制作・監督 ジョン・タータグリア氏、美術作家 小野川直樹さん、女優 浅野ゆう子さん、  
プリンセス・クルーズアジア太平洋地区コマーシャル・オペレーション担当 シニア・ヴァイス・プレジデント スチュアート・アリソン、  
プリンセス・クルーズジャパンオフィス 株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長 堀川 悟

プリンセス・クルーズは、2018年10月31日（水）横浜港に停泊中のダイヤモンド・プリンセス内プリンセス・シアターにおいて、新プロダクション・ショー「ザ・シークレット・シルク」日本上演記念イベントを開催しました。

当日は、「ザ・シークレット・シルク」が上演された他、日本上演を祝い、本作品のプロデューサーを務めるスティーヴン・シュワルツ氏、制作・監督のジョン・タータグリア氏、プリンセス・クルーズ エンターテイメント・オペレーション&プロダクション・マネジメント担当ディレクター ケリー・ラブグローブ、スペシャルゲストの女優の浅野ゆう子さんが登壇し、トークセッションを開催。また、来賓の国土交通省 港湾局 産業港湾課 クルーズ振興室 官民連携推進室 室長 塩田昌弘氏、および横浜市港湾局長 伊東慎介氏より、祝辞の言葉をいただきました。

浅野ゆう子さんは、「鶴をイメージした」白のドレスで華やかに登場。ショーの感想を「パペットを使ったショーを初めて見ましたが、キャストがパペットと同じ気持ちになって演じており、ファンタジックで素敵なラブストーリーに加え、家族愛が描かれた見応えのあるショーでした。日本の昔話の鶴の恩返しとはストーリーが異なりますが、華やかで国際的なショーとして演出されており、世界中の方々が見ても楽しめる素晴らしいショーだと思います」と述べました。また、『鶴の恩返し』にちなみ、「今恩返ししたい人は誰ですか？」という質問に、「母への恩返しとして、生まれ育った神戸から一緒にクルーズへ出かけたかったですね」と話しました。

スティーヴン・シュワルツ氏、ジョン・タータグリア氏らはトークセッションで、今回のショーの発表について、「『ザ・シークレット・シルク』は、日本の昔話をモチーフにしているので、ストーリーの原点である日本から発着するクルーズで上演し、日本の皆様に見ていただけることを大変光栄に思います」と話しました。

さらに当日は、本作品の上演に伴い、折り鶴を使った作品で知られる美術作家 小野川直樹さんによる、1200羽の小さな折り鶴を使って制作されたアート作品「Ao（あお）」を披露。小野川さんご本人も登壇され、作品について、「プリンセス・クルーズのブランドロゴと、波の流れるイメージからこの作品を制作した」と話しました。

【記念イベントの様子】



新プロダクション・ショー「ザ・シークレット・シルク」より



浅野さんのコメント



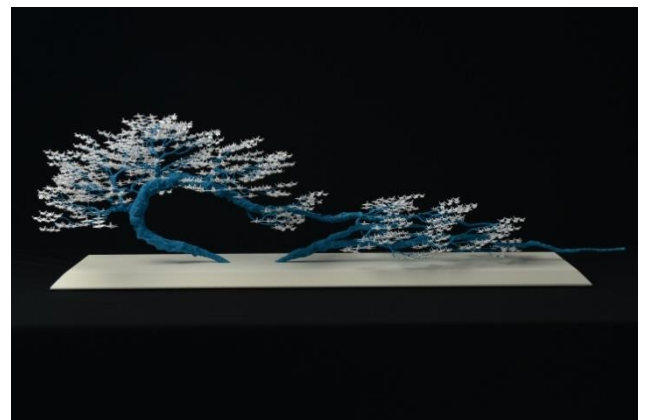
Q&Aセッション



浅野さんと制作陣によるトークセッション



小野川さんと浅野さんのトーク



Ao (あお) 作品

### プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテインメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

### プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 においてベスト・オーシャンクルーズライン賞第 1 位、ベスト・クルーズシップ ダイニング部門にてロイヤル・プリンセスが第 1 位、ベスト・クルーズシップ エンターテインメント部門にてリーガル・プリンセスが第 1 位、ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門にクラウン・プリンセスが第 2 位、リーガル・プリンセスが第 3 位、ロイヤル・プリンセスが第 6 位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 にて、ベスト・中米コース、ベスト・南太平洋コース、ベスト・オンボード・ショッピング、ベスト・シグネチャー・カクテルを受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2016」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を 3 年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を 2015 年 12 月に受賞。(9 年連続の受賞)。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を 2014 年に引き続き 2015 年 12 月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015 年 10 月に受賞

### **【国内での受賞】**

- 第9回「観光庁長官表彰」を2017年10月受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域 ビジネス部門で部門賞を2017年9月受賞、また第1回同アワードにて、観光関連産業部門 部門賞を2015年9月受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月受賞
- 日本で歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度、2017年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を4年連続で受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を2015年6月受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」にて、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが2014年12月に「グランプリ」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」にて、「運輸部門優秀賞」を2013年9月受賞